



農業  
はじめ  
ました!

JAやつしろ ミネラルアスパラ機械利用組合  
藤本 孝太郎さん(36歳、就農4年目)

## 叔父の離農を機に30代で就農 アスパラガス栽培に全力投球!

干拓事業による広大な平野部を、氷川や球磨川の清流が潤す八代地域。トマトやイチゴ、イグサなど、多彩な農産物が栽培される「JAやつしろ」管内では、春から秋にかけて、安全な土づくりでこだわった「ミネラルアスパラ」が出荷されます。高品質でみずみずしく、甘さもあるアスパラガスは全国で高い評価を得ており、若手就農者も生産に意欲的です。

### 高品質で全国的にも高い評価

### 新規就農者も続々誕生

JAやつしろの「ミネラルアスパラ」は、年間約140トンが生産され、県内はもとより、中京・関東地方にも出荷されています。同JAのミネラルアスパラ機械利用組合では、近年、組合員が増加傾向で、新規就農者も次々と誕生しています。

その中の一人である藤本さんは、県内の専門学校を卒業後、家電量販店や建築会社、コンピューター関連会社などで働いていましたが、叔父が離農するのを機にハウス施設の一部を引き継ぎ、アスパラガス農家に転身しました。

「栽培管理の方法などで試行錯誤もありますが、その分新しいことの連続で楽しい」と充実した毎日。就農4年目を迎え、生産量も安定してきました。「就農後に定植したアスパラが、ようやく本格的に収穫できるようになるので生産量も増えるはず」と期待に胸を膨らませます。

生産部会事務局やアスパラ販売を担当する同JA総合青果物センターの米田征史さんは、「アスパラは価格が安定しており、経営計画も立てやすい」とした上で、「20年以上生産している方もいるので、藤本さんも長く続けてほしい」と願っています。



県内JAの情報は  
こちらから



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

Vol.262  
JAやつしろ 編

# くまもとあぐりん



【上】2月から11月まで生産が続く「ミネラルアスパラ」の生育や販売状況を確認する藤本さんとJAやつしろの米田さん(右)

【下】キャンプが趣味という藤本さん。秋の行楽シーズンに家族で出かけるのを楽しみに、キャンプ用品を物色